

依頼および招待講演のリスト

若宮淳志

97 件 (国内 71 件、国際 26 件)

平成 26 年以降 1 年間 : 34 件 (国内 22 件、国際 12 件)

1. 名古屋大学「有機・分子エレクトロニクス of 究拠点形成」研究会シンポジウム、名古屋、平成 17 年 7 月
「機能性有機ホウ素 π 電子系 : 分子設計から基礎物性評価まで」
若宮淳志
2. Mainz University Seminar、マインツ (独国)、平成 18 年 3 月
“Boron-Containing Functional π -Electron Materials”
Atsushi Wakamiya, Shigehiro Yamaguchi
3. 第 1 回京都大学有機化学系 COE 合同シンポジウム「精密有機合成の多様性と展望」、京都大学、平成 18 年 9 月
「機能性有機ホウ素 π 電子系の創出 : ホウ素の特性に基づく分子設計」
若宮淳志
4. 第 55 回高分子討論会、富山大学、平成 18 年 9 月
「ホウ素置換基を側鎖にもつ新規 π 電子系化合物の合成と光物性」
若宮淳志, 趙翠華, 森憲二, 山口茂弘
5. 次世代を担う若手研究者共同研究ネットワークの構築
自然科学研究機構・分子科学研究所・岡崎コンファレンスセンター、平成 19 年 1 月
「機能性有機ホウ素化学 : ホウ素の特性を活かした π 電子系の機能発現」
若宮淳志
6. 日本化学会第 87 春季年会 若い世代の特別講演、関西大学、平成 19 年 3 月
「機能性有機ホウ素化学 : ホウ素の特性に基づく π 電子系の機能発現」
若宮淳志
7. 第 4 回有機元素化学セミナー、京都大学化学研究所、平成 19 年 11 月
「ホウ素の特性に基づく機能性 π 電子系化合物の設計と合成」
若宮淳志
8. 第 7 回合成生体分子セミナー、立命館大学、平成 19 年 11 月
「ホウ素の特性を活かした機能性 π 電子化合物の創製」
若宮淳志
9. 4th OUS Hightech International Symposium、岡山、平成 20 年 11 月
“Design and Synthesis of Functional π -Electron Materials with Boron as a Key Element”
Atsushi Wakamiya
10. 文部科学省科学研究費補助金特定領域研究「元素相乗系化合物の化学」
第 3 回若手コロキウム、大阪、平成 20 年 3 月
「ホウ素の特性を活かした π 電子系の機能発現」
若宮淳志
11. 大阪電気通信大学・エレクトロニクス基礎研究所ワークショップ
「有機分子を用いた機能物質の開発」、大阪、平成 20 年 3 月
「ホウ素を鍵元素に用いた高発光性有機固体の開発」
若宮淳志

12. 第 40 回構造有機化学若手の会夏の学校、山梨、平成 20 年 8 月
「ホウ素を鍵元素に用いた π 電子系の機能発現：ホウ素の使い方とコツ」
若宮淳志
13. IMEBORON XIII (ホウ素化学国際学会)、スペイン、平成 20 年 9 月
“ π -Conjugation in Boracycles: Dithieno-Annulated *IH,2H*-1,2-Diborin and its Dianion”
Atsushi Wakamiya, Kenji Mori, Takafumi Araki, Shigehiro Yamaguchi
(Young Boron Chemist Award 受賞講演)
14. 第 89 日本化学会春季年会、日本大学、平成 21 年 3 月
「ホウ素の特性を活かした機能性 π 電子系の創製」
若宮淳志 (第 58 回日本化学会進歩賞 受賞講演)
15. 第 89 日本化学会春季年会・日本化学会有機化学ディビジョン
アジア国際シンポジウム、平成 21 年 3 月
“ π -Conjugation in Boracycles: Borole and *IH,2H*-1,2-Diborin Derivatives, and Their
Dianionic Species”
Atsushi Wakamiya
16. 東京大学大学院工学系研究科 2009 年度第 1 回化学生命談話会
東京大学、平成 21 年 8 月
「機能ホウ素化学：いかにホウ素の特性を機能発現に活かすか」
若宮淳志
17. BASF ジャパン、兵庫、平成 22 年 5 月 31 日
「ホウ素の特性を活かした機能性 π 電子系の創製」
若宮淳志
18. セミナー “化学千一夜” 「あすの化学への夢を語ろう」、京都、平成 22 年 6 月
「新たな分子設計概念に基づく機能有機材料開発～究極の機能発現をめざして～」
若宮淳志
19. 有機金属若手の会、福岡、平成 22 年 7 月
「機能発現を指向した含ホウ素 π 電子系の化学」
若宮淳志
20. 太陽電池シンポジウム、京都、平成 22 年 7 月
「ホウ素の特性を利用した機能性 π 電子材料開発」
若宮淳志
21. 和歌山県工業技術センター、和歌山、平成 22 年 7 月
「機能性含ホウ素 π 電子系材料の開発～いかにホウ素の特性を機能発現に活かす
か～」
若宮淳志
22. 愛媛大学シンポジウム、愛媛、平成 22 年 7 月
「ホウ素の特性を利用した機能性 π 電子化合物の創製」
若宮淳志
23. 第 4 回有機 π 電子系シンポジウム、兵庫、平成 22 年 11 月
「ホウ素を鍵元素として用いる機能性 π 電子系化合物の開発」
若宮淳志

24. 分子科学研究所, 所長招聘研究会「2020年の物質分子科学を語る」、岡崎、平成22年12月
「ホウ素の特性を活かした機能性有機材料の開発」
若宮淳志
25. Pacificchem 2010, Honolulu, Hawaii, USA, 平成22年12月
“A B–B bond-containing polycyclic pi-electron systems:
Dithieno-1,2-dihydro-1,2-diborins and their dianionic species”
Atsushi Wakamiya, Takafumi Araki, Kenji Mori, Shigehiro Yamaguchi
26. NIMS 講演会、つくば、平成23年3月
“The Chemistry of B–B Bond-Containing Polycyclic pi-Electron Systems”
Atsushi Wakamiya
27. 有機太陽電池シンポジウム、京都、平成23年7月
「分子内 B–N 配位結合を鍵骨格に用いた有機色素の開発」
若宮淳志、谷口拓弘、村田靖次郎、Joanne Ting Dy、瀬川浩司
28. 第一回次世代太陽電池研究会、京大総合人間学部、平成23年7月
「色素増感太陽電池の高効率化を指向した分子設計」
若宮淳志
29. 京都大学新技術説明会、科学技術振興機構 JST ホール、東京・市ヶ谷、平成23年8月5日
「高効率色素増感型太陽電池のための色素材料の設計と開発」
若宮淳志
30. 産業技術総合研究所 研究交流会、産総研、つくば、平成23年8月
「分子内配位結合を利用した有機色素材料の設計・開発」
若宮淳志
31. 高分子化学討論会、岡山、平成23年9月
「準平面型トリアリールアミンを基本骨格にもつ機能性材料開発」
若宮淳志、西村秀隆、村田靖次郎、福島達也、梶 弘典
32. 有機エレクトロニクス研究会、東京、平成23年12月
「軌道の広がりこだわった機能性 π 電子材料開発」
若宮淳志
33. DSC シンポジウム@DBU、ブルネイ王国、平成24年2月
“DSC Research and Development at the Institute for Chemical Research, Kyoto University”
Atsushi Wakamiya
34. 近畿化学協会ヘテロ原子部会第3回懇話会、大阪科学技術センター、平成24年2月
「 π 軌道の精密制御に基づく機能性 π 電子材料開発」
若宮淳志
35. 第7回ガラス工作技術シンポジウム (基調講演)、名古屋大学、平成24年3月
「ガラス工作技術者とともに歩む研究スタイル」
若宮淳志

36. キヤノン株式会社 講演会、東京、平成 24 年 4 月
「分子の構造制御に基づく機能 π 電子系材料開発～分子設計の考え方を中心に～」
若宮淳志
37. CREST 有機太陽電池シンポジウム、京都大学、平成 24 年 7 月
「分子構造制御に基づく機能性 π 電子材料の開発」
若宮淳志、西村秀隆、福島達也、村田靖次郎、梶 弘典
38. 東洋紡 講演会、滋賀、平成 24 年 8 月
「有機エレクトロニクス材料の分子設計の考え方」
若宮淳志
39. 近畿化学協会コンピュータ化学部会 公開講演会（第 85 回例会）、
大阪、平成 24 年 11 月
「DFT 計算を用いた有機電子材料の分子設計と開発」
若宮淳志
40. Fluorofest Workshop 2012、京都 HORIBA、平成 24 年 11 月
“Molecular Design for Organic Electronics Materials”
Atsushi Wakamiya
41. 第 17 回ユニバーサルソーラーセル研究会、山形大学、平成 24 年 11 月
「機能性 π 電子材料の分子設計：構造制御と機能発現」
若宮淳志
42. Boston College Lecture、Boston USA、平成 24 年 11 月
“Molecular Design for Organic Electronics Materials”
Atsushi Wakamiya
43. 12-2 有機エレクトロニクス研究会、大阪、平成 24 年 12 月
「 π 軌道の精密制御に基づく機能性 π 電子材料開発」
若宮淳志
44. 第 3 回有機太陽電池研究会、和歌山大学、平成 24 年 12 月
「軌道の精密制御に基づく有機太陽電池の基盤材料開発」
若宮淳志
45. 第 4 回協定講座シンポジウム「計算化学と材料科学の融合」、神戸大学、
平成 24 年 12 月
「DFT 計算を用いた機能性 π 電子材料の分子設計と開発」
若宮淳志
46. 第 7 回京都大学発 新技術セミナー、東京、平成 25 年 1 月
「有機系太陽電池のためのドナー性材料開発～その分子設計の考え方～」
若宮淳志
47. 住友化学 講演会、筑波、平成25年3月
「有機電子材料開発～分子設計の考え方～」
若宮淳志
48. 第 288 回生存圏シンポジウム「有機太陽電池開発：バイオと化学のコラボ」、
京都大学、平成25年3月
「有機太陽電池の現状と課題」
若宮淳志

49. 第二回元素化学懇談会、近畿大学、平成 25 年 3 月
「分子内 B-N 配位結合の化学」
若宮淳志
50. 第 9 3 回日本化学会春季年会 ATP 企画「太陽光発電技術の現在と未来」、
立命館大学、平成 25 年 3 月
「電子構造の精密制御に基づいた色素増感型太陽電池のための新色素開発」
若宮淳志
51. ナード研究所講演会、尼崎、平成 25 年 4 月
「DFT 計算を活かした有機電子材料開発」
若宮淳志
52. かずさ DNA 研究所シンポジウム「農業と太陽光発電の両立に向けて」、品川、
平成 25 年 3 月
「有機材料の分子設計～農業に適した光吸収波長制御～」
若宮淳志
53. 第 3 7 回有機電子移動化学討論会、岡山大学、平成 25 年 6 月
「電子構造の精密制御に基づく有機電子材料開発」
若宮淳志
54. CREST 有機太陽電池シンポジウム、京都、平成 25 年 7 月
“Development of Organic Dyes Based on Fine Electronic Structure Tuning”
Atsushi Wakamiya, Hiroyuki Shimogawa, Masaru Endo, Eri Yoshida, Yumi Nakaike,
Takuhiro Taniguchi, and Yasujiro Murata
55. International Young Chemist Symposium on Functional π -Systems toward Molecular
Electronics, NAIST、平成 25 年 8 月
“Molecular Design for Organic Electronics Materials Based on Fine Tuning of the Electronic
Structure”
Atsushi Wakamiya
56. SPIE, 2013 Optics + Photonics, San Diego. USA、平成 25 年 8 月
“Charge-transporting Materials Using Quasi-planar Structure as a Key Scaffold”
Atsushi Wakamiya, Hidetaka Nishimura, Tatsuya Fukushima, Yasujiro Murata, Hironori
Kaji
57. 関西学院大学理工学部講演会、関西学院大学、平成 25 年 9 月
「エレクトロニクスを指向した機能性 π 電子系材料の開発」
若宮淳志
58. 第 4 回物質統合シンポジウム、北海道大学、平成 25 年 11 月
「有機色素材料開発: 分子内 B-N 配位結合を利用した電子構造制御」
若宮淳志、遠藤 克、下河広幸、谷口拓弘、中池由美、村田靖次郎
59. 第 3 回実験化学との交流シンポジウム、京都大学福井謙一記念研究センター、
平成 25 年 9 月
「計算化学を利用した分子設計と有機電子材料開発」
若宮淳志

60. 応用物理学会 有機分子・バイオエレクトロニクス分科会講習会、京都テルサ、平成 25 年 9 月
「有機太陽電池材料開発～分子設計の考え方～」
若宮淳志
61. GPVC2013 & DSC-OPV8, Busan 韓国、平成 25 年 11 月
“Design and Synthesis of Organoboron Dyes Using Diketopyrrolopyrrole as a pi-spacer”
Atsushi Wakamiya, Hiroyuki Shimogawa, Masaru Endo, Takuhiro Taniguchi, Yumi Nakaike, Eri Yoshida, and Yasujiro Murata
62. Seminar, The Catholic University of Korea, Seoul, Korea、平成 25 年 11 月
“Molecular Design for Organic Electronics Materials Based on Fine Tuning of the Electronic Structure”
Atsushi Wakamiya
63. 近畿大学理工学部講演会、近畿大学、平成 25 年 12 月
「機能性 π 電子系材料の開発～分子設計の考え方～」
若宮淳志
64. 京都大学化学研究所 全国共同利用研究拠点セミナー、京都大学、平成 26 年 1 月
「ペロブスカイト型太陽電池の研究最前線～新規材料に求められるもの～」
若宮淳志
65. 第 1 2 回 京都大学 宇治キャンパス産学交流会、京都大学、平成 26 年 2 月
「有機エレクトロニクス材料のための分子デザイン」
若宮淳志
66. 新化学発展協会 エネルギー・資源技術部会エネルギー分科会 技術セミナー
「ハイブリッド太陽電池①」、東京、平成 26 年 2 月
「ペロブスカイトを用いたハイブリッド太陽電池の研究開発の現状」
若宮淳志
67. 10th Workshop on the Future Direction of Photovoltaics, Tokyo Tech Front, Tokyo Institute of Technology, 平成 26 年 3 月
“X-ray Crystallographical Approach toward Reproducible Fabrication of Efficient Perovskite Solar Cells”
Atsushi Wakamiya
68. Institute for Chemical Research International Symposium (ICRIS)2014、京都、平成 26 年 3 月
“Molecular Design for Organic Electronics Materials: Fine Tuning of the Electronic Structure”
Atsushi Wakamiya
69. 東京大学 先端科学技術研究センター 講演会、東京大学、平成 26 年 3 月
「ペロブスカイトを用いたハイブリッド太陽電池の研究開発最前線」
若宮淳志
70. 日本化学会 ATP セッション「資源・次世代エネルギーと環境」、名古屋大学、平成 26 年 3 月
「ペロブスカイト材料の X 線結晶構造解析と光電変換高効率化」
若宮淳志

71. 日本化学会『ルミネッセンス化学アンサンブル：新学理から花開く革新的発光化学』、名古屋大学、平成 26 年 3 月
「励起状態のマネジメントに基づく有機ルミネッセンス材料開発」
若宮淳志
72. The 8th International Symposium on Organic Molecular Electronics (ISOME2014)、Tokyo University of Agriculture and Technology、平成 26 年 5 月
“Design and Development of Organic Electronics Materials Based on Fine-Tuning of the Electronic Structures
Atsushi Wakamiya
73. 新化学発展協会 エネルギー・資源技術部会エネルギー分科会技術セミナー
「ハイブリッド太陽電池②」、東京、平成 26 年 5 月
「ペロブスカイトを用いたハイブリッド太陽電池：最新の研究開発動向」
若宮淳志
74. The 17th Joint Symposium, June 12–13, 2014, Nagoya University
Molecular Design for Organic Electronics Materials Based on Fine Tuning of the Electronic Structure
Atsushi Wakamiya
75. CEREB A 講演会、平成 26 年 6 月 20 日、つくば
ペロブスカイトを用いたハイブリッド太陽電池：最新の研究開発動向
若宮淳志
76. SISF 2014 (Sungkyun International Solar Forum 2014), July 3–July 5, 2014, Seoul Korea,
Reproducible Fabrication of Efficient Perovskite-based Solar Cells: X-ray Crystallographic Studies on the Formation of Perovskite Layers
Atsushi Wakamiya
77. 第 10 回有機太陽電池シンポジウム–高性能化と新たな用途展開–
宇治、2014 年 7 月 17-18 日
有機–無機ハイブリッド太陽電池：二段階成膜法を用いた高効率セルの作製
若宮淳志
78. 第 49 回有機反応若手の会、平成 26 年 7 月 28 日、京都
機能性有機材料の開発～分子の形にこだわった分子設計～
若宮淳志
79. 島津製作所講演会、2014 年 8 月 1 日、京都
ペロブスカイトを用いたハイブリッド太陽電池：最新の研究動向
若宮淳志
80. 19th International Conference on Ternary and Multinary Compounds ICTMC, Niigata, 2014. 9.2. (9/1-9/5)
Recent Progress of Perovskite Solar Cells
Atsushi Wakamiya
81. 光機能材料研究会、平成 26 年 9 月 19 日、東京大学
ペロブスカイト型太陽電池：材料の X 線結晶構造解析と光電変換の高効率化
若宮淳志

82. From Carbon-Rich Molecules to Carbon-Based Materials,
2014. 9.22-25. Mazagan Beach Resort, El Jadida, Morocco
Organic Electronics Materials Using Quasiplanar Structure as a Key Scaffold
Atsushi Wakamiya
83. 三菱化学講演会、平成 26 年 9 月 29 日、横浜
ペロブスカイト型太陽電池の研究最前線～見えてきた課題と展望～
若宮淳志
84. 第二回ナノ界面光機能寄付研究部門講演会、「薄膜太陽電池と光電変現象」、
平成 26 年 10 月 3 日、京都大学化学研究所
ペロブスカイト太陽電池の最近の研究動向
若宮淳志
85. International Symposium on “OptoBioTechnology”, 2014. 10. 4. 名古屋工業大学
Development of Organic Photovoltaic Materials Based on Fine-tuning of Their Electronic
Structure
Atsushi Wakamiya
86. 高分子学会「ポリマーフロンティア 21」
次世代印刷技術と高分子材料～プリンテッドエレクトロニクスへの展開～、
平成 26 年 10 月 17 日、東京工業大学
ペロブスカイト型化合物を光吸収材に用いたプリンタブル太陽電池
若宮淳志
87. The 1st International Symposium on Interactive Material Science Cadet Program,
平成 26 年 11 月 16-19 日、大阪
Materials for Organic Electronics Using Quasiplanar Structure as a Key Scaffold
Atsushi Wakamiya, Hidetaka Nishimura, Yasujiro Murata
88. 高分子学会関東支部湖北地区懇話会「有機エレクトロニクス最前線」、
平成 26 年 11 月 21 日、神奈川大学
ペロブスカイト型太陽電池～見えてきた課題と展望～
若宮淳志
89. WCPEC-6 Satellite Meeting /JST PRESTO Session “Perovskite Solar Cells”,
2014.11.22. Kyoto
Solution Process for Fabrication of Perovskite-based Solar Cells: A X-ray Crystallographic
Study
Atsushi Wakamiya
90. 2014KIPS 若手高分子シンポジウム「異分野研究を通じた高分子科学の論究」、
京都大学桂キャンパス、平成 26 年 12 月 12 日
有機化学の視点から挑むペロブスカイト型太陽電池
若宮淳志
91. 第 267 回新規事業研究会、東工大蔵前会館、平成 26 年 12 月 13 日
ペロブスカイト型太陽電池：材料の特性と高効率化
若宮淳志

92. 8th Singapore International Chemistry Conference 2014 (SICC-8),
Singapore,平成 26 年 12 月 15-17 日
Molecular design of Organic Materials using Quasi-planar structure as a Key Skeleton
Atsushi Wakamiya, Hidetaka Nishimura, Naoki Maruyama, Yumi Nakaike, Masaru Endo,
Yasujiro Murata
93. 第 111 回ニューガラスセミナー、日本ガラス工業センター（東京）、
平成 26 年 12 月 18 日
色素増感型とペロブスカイト型太陽電池
若宮淳志
94. 第 53 回セラミックス基礎科学討論会、京都テルサ、平成 27 年 1 月 9 日
ペロブスカイト型太陽電池の研究最前線～見えてきた課題と展望～
若宮淳志
95. Yamagata University ANGEL Kick-Off Symposium, Yonezawa, 2015, 1, 29.
Development of Organic Semiconductors Using Quasiplanar Skeleton toward
Efficient Perovskite-based Solar Cells
Atsushi Wakamiya
96. 高分子同友会、公社) 高分子学会会議室、平成 27 年 2 月 18 日
ペロブスカイト型太陽電池～課題と展望～
若宮淳志
97. 平成 26 年度 JST ACT-C シンポジウム in 岡山
「新しい分子変換反応による機能性有機分子の創製」、平成 27 年 2 月 21 日、岡山
準平面型構造を用いた有機半導体材料開発とペロブスカイト型太陽電池の高効率化
若宮淳志

高校生および一般向け講演

1. 駿台予備校 百万遍ハイツ講演会、平成 22 年 10 月 7 日
「夢をもって初志貫徹」
若宮淳志
2. 京都大学化学研究所 第 15 回高校生のための化学～先端高度研究の一端を学ぶ～、
京都、平成 24 年 7 月
「元素周期表を眺めてみよう」
若宮淳志
3. 三重県立宇治山田高校同窓会 大阪支部総会、大阪、平成 25 年 11 月
「化学で社会に貢献する～有機エレクトロニクス材料開発～」
若宮淳志
4. 三重県立宇治山田高校 進路講演会、三重県伊勢市、平成 26 年 2 月
「山高生に期待する～夢を実現するための進路選択～」
若宮淳志